

◎希望を持って引き続きの感染防止対策継続を

自民党県連は30日、県内でいく方針。中村知事は「既存の認証制度と調整を図りながら前に進めていきたい」と述べた。

要請書には、長崎市の感染者数が高止まりで推移した場合、遅滞なく国に「まん延防止等重点措置」の申請をすることも明記。医療従事者用の宿泊施設の確保や、経済回復へ向けた有効な事業を組み立て6月の定例県議会に補正予算を計上することなども求めた。

要請書は同日、山本啓介総務会長と前田哲也政調会長が中村知事に渡した。

(熊本陽平)

感染症対策満たず飲食店認証
山梨の制度導入検討
県、自民県連の要望に対し

昨年引き続き皆様へ制限をお願いしての連休が明けました。お休みはいかががお過ごしになられたでしょうか。

実は連休に入る前 4/30 に議長と連携をとり自民党三役で協議～政調会に諮り、活発な人流によって感染拡大が懸念されるこのタイミングで知事に対して緊急要望を行いました。当日は党を代表し私から知事に内容の説明をしました。項目は大きく「お願いベースに留まらない積極的取組」「さらなる医療体制整備」「経済回復のための補正予算計上」で知事からは前向きな回答がなされました。

そして懸念が現実となり、残念ながら3日には過去最高の62人のコロナ感染が確認され、5日からは県内の感染状況について県独自の5段階のステージを「ステージ4」に引き上げました。特に長崎市においては下記の通り**医療体制がひっ迫**しており、みなとメディカルの門田院長は「当院は6割程度のコロナ病床が埋まっているとなっていて**実際は満床に近い状況で運用**している。マンパワー的にはかなり疲弊していて気力だけではどうしようもない」とインタビューに答えています。

知事が会見で「**長崎市を対象にまん延防止重点措置の適用要請**」を7日の対策本部会議で検討すると述べていますが、とにかく引き続きの拡大防止に向けた行動を切にお願いいたします。

■主要な指標の状況 (5/4 公表時点)

長崎市	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	単位
病床の逼迫具合(日)	23.4	27.3	29.9	21.4	24.3	24.3	31.4	40.0	47.1	51.4	52.9	55.7	57.1	57.9	59.3	%
新規報告者数 (10万人/週)	7 (6.1)	6 (7.0)	21 (10.4)	15 (13.1)	19 (17.2)	21 (21.6)	15 (25.2)	29 (30.6)	13 (32.3)	21 (32.3)	15 (32.3)	19 (32.3)	20 (32.0)	16 (32.3)	55 (38.6)	人
療養者数(10万人/日) (入院・宿泊・自宅)	7.5	8.0	13.1	14.3	20.4	24.7	27.7	34.0	35.4	39.5	41.7	44.4	46.1	45.9	55.6	人

この度、久方ぶりに印刷物での県政報告を作成しました。ご希望の方は郵送させていただきます。

お手数ですが、下記にご記入頂きファックス送信ください。

どうぞよろしくお願いいたします。FAX 095-840-9027

○ご住所 _____

○お名前 _____

長崎県議会議員 前田哲也 県政報告 2021年春

春の候、ご健康にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。
令和5年度がスタートしましたが、昨年度はコロナで始まりコロナで終わった一年でした。地域経済の停滞から改めて、県民の生活を支える、そして人々の暮らしを支えることが、今年度最大の課題です。県民の暮らしを支えるための施策に重点を置き、昨年度は総額7164億の予算を計上しましたが、コロナの影響が深刻化し、さらなる予算増が必要と見込まれてきました。一方でコロナ対策では361億、額にして1793億の補正予算を組み、県民の安心安全の確保と社会経済活動の回復に努めてまいりました。私自身も議会のなかで懸命に取り組んでまいりました。

今年度も「守り」に留まらず「攻め」の予算も全体の7486億の予算を計上しています。
今後は昨年度の成果に於ける私の貢献をお届けいたします。恒例行事となり、これから「感染」に勝つてまいります。今後ともご指導ご鞭撻、叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。 前田 哲也

2020(R2)3~2021(R3)3 質問報告

